

2 0 2 1 年 度
事 業 計 画 書



学 校 法 人 共 济 学 院
日 本 保 健 医 療 大 学

2021年度

事業計画書

目次

基本方針

○設立の背景と理念	1
○日本保健医療大学の目標	1
○入学者受け入れの基本方針（アドミッションポリシー）	3
○日本保健医療大学教育課程編成実施方針（カリキュラムポリシー）	4
○日本保健医療大学学位授与方針（ディプロマポリシー）	5
1 学生の受け入れ計画	7
2 教職員の配置計画	7
3 施設、設備などの整備計画	8
4 自治体との連携関係	8
5 教育研究環境の整備	8
6 学生募集の強化	10
7 事業運営の推進	11
8 2021年度予算案について	13
事業活動収支予算書	13
資金収支予算書	16

基本方針

○設立の背景と理念

我が国は、第2次世界大戦の敗戦により荒廃した社会の中で文字どおりゼロからスタートしました。そして戦後、国民のたゆまぬ努力により、科学技術の高度な進展とともに工業技術の発展を遂げ、世界有数の経済大国・技術大国に成長しましたが、人間性の高揚においては未だしの感あり、今後は文化大国を目指して、前進致さねばなりません。一方、乳幼児死亡率の低下と公衆衛生の向上ならびに医学の進歩により国民の寿命は飛躍的に延び、今日ではいわゆる超高齢社会となり、今後ますます高齢者化が増加速すると予測されています。

このような超高齢化社会にあって、すべての国民が豊かな老後を過ごすためには、国民一人ひとりが心身ともに健康で生甲斐をもって日々充実した生活を送ることが必須であります。このために医学の分野のみならず、保健医療福祉の分野の充実・拡充が急務となっております。

今日の医療現場では、医師のみならず看護師、臨床心理技術者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の医療専門スタッフがチームを組み、一体的にケアに当たるいわゆるチーム医療の必要性が叫ばれており、それぞれの専門職の養成と資質の向上が緊急の課題となっております。

このような社会の要請に鑑み、私たちは、保健医療分野の充実を図るため「日本保健医療大学」を設立し、気品の泉源、智徳の模範を目指し「人間性（儒教の三綱五常の精神を基本とする）の高揚と、共済主義、又は共済主義精神（共存共栄の精神）」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療の各種の専門職を育成し、人類の平和と高度な文化の実現に貢献しようとするものであります。

○日本保健医療大学の目標

[看護学科]

1 【人間性】深い教養と豊かな人間性を備えた人材の育成

医療等に携わる者は、まず最初に幅広く深い教養に根ざした豊かな人間性が大切です。人間の健康は身体的側面のみならず、精神的、文化的、社会的諸側面などすべてを併せて完成するものであり、したがって学問は全人的学問でなくてはなりません。そのため、教養教育を重視し、儒学的道德心を培い、滲み出る教養と溢れる人間味を備えた人材を育成します。

- 2 **【専門性】高い専門性と総合的な視野を持ち、独創性・指導性の発揮できる人材の育成**
各種技術は日進月歩であり、それぞれの分野で常に極めて高度な専門的知識・技術を必要としています。そのため、個々の専門性のみならず総合的に判断できる能力を養い、特に学際的な分野において独創的な技術を模索できる人材を育成するとともに、それぞれの分野においてリーダーシップと協調性を発揮できる人材を育成します。
- 3 **【国際性】グローバルスタンダードに対応できる国際性を備えた人材の育成**
各種の技術分野も当然、国際的スタンダードは高度に発展しています。このような中にあって国際的に通用する専門性はもちろん、英語教育を重視し、専門的知識・技術を世界に発信できる能力を有する人材を育成します。
- 4 **【社会性】地域社会のみならず国際社会に貢献できる人材の育成**
高齢化社会における全人的医療は、病院等におけるケアだけでなく、在宅等のケアも重要です。したがって地域社会の役割もますます重要となってきました。その地域社会にあって指導的役割を担うことのできる人材を育成します。
また、地球上にはまだまだこのような医療等の面で途上の国々や地域がたくさん存在します。このような社会で指導的役割を担い、国際貢献できる人材を育成します。

[理学療法学科]

- 1 **【人間性】深い人間理解に基づいた、人に寄り添える理学療法士の育成**
豊かな教養を身につけ、高い倫理性を涵養し、自らの人間性を高揚させることにより人間を深く理解し、弱者に寄り添い共に生きる社会を実現できるような理学療法士の育成を目指す。
- 2 **【専門性】責任ある専門家として他職種と連携できる理学療法士の育成**
高度なチーム医療の中で、責任をもって理学療法士としての専門性を発揮しながら、他の職種と連携できる、さらにはリーダーシップを発揮できる理学療法士の育成を目指す。
- 3 **【国際性】国際社会に貢献できる理学療法士の育成**
理学療法を通して、地域社会のみならず国・人種などを越えた人類の健康に自主的かつ創造的に貢献できる、国際性をもった理学療法士の育成を目指す。
- 4 **【社会性】変化する社会と進歩する科学に対応できる理学療法士の育成**
眼前の現象だけに惑わされることなく基本を重視しつつも、常に向上心と探究心を持ち、変化する社会と進歩する科学に柔軟に対応できる理学療法士の育成を目指す。

5 【総合性】多様で広範な理学療法ニーズに対応できる理学療法士の育成

基礎分野の教育に力を入れ、急性期から生活維持期まで、新生児から高齢者まで、また運動器系分野・神経系分野・内部障害系分野といった多様で広範な理学療法ニーズに対応できるジェネラリストとしての基盤を固め、その上でさらに自らの得意分野を伸ばしてスペシャリストを目指せるような理学療法士の育成を目指す。

○入学者受け入れの基本方針（アドミッションポリシー）

【日本保健医療大学の理念と目標について】

本学は、人間性（儒教の三綱五常の精神を基本とする）の高揚（人間性の復活、向上から、人間性の高揚へ）と、共済主義又は共済主義精神（共存共栄の精神）を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる各種の専門職を育成し、人類の平和と高度な文化の実現に貢献できる人材を育成します。

【日本保健医療大学が求める学生像】

[看護学科]

- 1 日本保健医療大学の基本理念を十分に理解し、専門職業人として、「慈愛、正義、礼節、知識、誠実を身につけ、社会人としての責任態勢の確立に努力し」、また、「我が物を独りせず、他の物を欲せず、自他共存共栄の社会」の実現に強く貢献したいと考える人
- 2 これからの時代の健康、医療、福祉等の分野における科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するための努力を継続できる人
- 3 幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため、気品の泉源、智徳の模範たるべく、積極的に自らを磨いていける人
- 4 あらゆる人に対して自らの心を開き、協調性をもってコミュニケーションをとれる人
- 5 社会人としての使命のため、利他優先の精神をもって多くの人々に貢献し、権利の主張より義務の全うに努力できる人
- 6 学業・社会貢献・技術・芸術・スポーツのいずれかの分野で優れた活動実績を有し、さらに日本保健医療大学での学びを活かして将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人
- 7 日本保健医療大学での学びを活かし、将来、母国および国際社会における健康、医療、福祉及び他の専門分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ人

- 8 当大学は学業と健康な体作りを第一とするため、原則としてアルバイトを禁止する。但し、2年次以降は学業成績良好であり目的がある場合は大学に申請の上、家庭教師等の職種によっては短時間認めることがある。(毎日、勉強が必要なため、海外の最高レベルの諸大学は皆同様な方針を採用しています)

【日本保健医療大学が求める学生像】

[理学療法学科]

- 1 本学の基本理念を十分に理解し、専門職業人として、「慈愛、正義、礼節、知識、誠実を身につけ、社会人としての責任態勢の確立に努力し」、また、「中庸を道とし、民族、宗教、思想に捉われることなく、自由と平等の立場並びに一地球人として、我が物を独りせず、他の物を欲せず、自他共存共栄の社会」の実現に貢献したいと考える人
- 2 これからの時代の健康、医療、福祉等の分野における科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するための努力を継続できる人
- 3 幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため、気品の泉源、智徳の模範たるべく、積極的に自らを磨いていける人
- 4 あらゆる人に対して自らの心を開き、協調性をもってコミュニケーションをとれる人
- 5 医療人としての使命のため、利他の精神をもって病める人々に貢献し、権利の主張より義務の全うに努力できる人
- 6 学業・社会貢献・技術・芸術・スポーツのいずれかの分野で優れた活動実績を有し、さらに本学での学びを活かして将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人
- 7 今日迄周囲の人々に教え育てられた事に報いるため、卒業後は身に付けた学問を社会還元し、将来、母国および国際社会における健康、医療、福祉分野に貢献したいという強い意志を持つ人

○日本保健医療大学教育課程編成実施方針（カリキュラムポリシー）

[看護学科]

本看護学科の教育課程の編成にあたり、本学部の教育方針である幅広い視野と人格の陶冶、高度の専門的知識・技術を修得し、各種の実践能力のある人材の育成を目標にカリキュラムを作成している。

各種学科のカリキュラムの特徴は、学修を段階的に積み上げ、螺旋的に繰り返す、内容を充実していく学習となっている。例えば、看護学の専門分野である「看護学専門科目」と看護学を支える科目として、「専門基礎系科目」を設定し、さらに、看護専門職に不可欠な人間理解につながる能力と広い視野を持つ判断力、人間性を培う科目として「基礎

系科目」を設定している。

また、カリキュラムの中心に人間を置き、人々の健康生活の支援に関する知識・技術（「個人→集団」、「健康→健康障害・終末期」）に向かうように段階的に組み、学習者自身の人間的成長にもあわせた編成となっている。

[理学療法学科]

本理学療法学科は、「人間性の高揚と、共存共栄の精神（共済主義精神）」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療福祉の専門職を育成し、国民ひいては人類の福祉と活力ある、より高度な社会の実現に貢献する」という建学の精神に基づいた

- ① 深い教養と豊かな人間性を備えた人材の育成【人間性】
- ② 高い専門性と総合的な視野を持ち、独創性・指導性の発揮できる人材の育成【専門性】
- ③ グローバルスタンダードに対応できる国際性を備えた人材の育成【国際性】
- ④ 地域社会のみならず国際社会に貢献できる人材の育成【社会性】

という教育目標に基づき、教育課程の編成方針を定める。

- ・教育課程は、基礎科目、専門基礎科目、専門科目から構成される。
- ・基礎科目は学士力の基礎としての深い教養、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけるための広範な科目を開設する。
- ・ディプロマポリシーを達成するよう、4年間を通して教育課程を体系的に配置する。
- ・臨床実習は全ての要素を総合的かつ統合的に涵養する機会として配置

○日本保健医療大学学位授与方針（ディプロマポリシー）

[看護学科]

学部所定の期間在学し、大学の教育理念を身につけ、大学並びに学部の教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得し、卒業試験に合格することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には、講義科目のほか、学部の方針に応じて、演習や実習等の科目が含まれる。

[理学療法学科]

(1) 認知領域（知識・思考・判断）

- ① 保健医療専門職として相応しい知識と深い教養を身につけている。
- ② 外国語や他国の保健医療事情などの学習を通じ、他文化の理解と国際的な視野に立ち、保健医療について考察できる。
- ③ 多様な情報を適切に分析し、合理的な思考ができる。
- ④ 必要な問題解決方法を理解している。

(2) 精神運動領域（技術・行動・表現）

- ① 保健医療領域の諸課題を見出し、科学的考察による的確な判断と専門職として相応しい対応ができる。
- ② 確実な基本的技術を提供する能力と、漸次高度化する専門分野の先進技術を学ぶ姿勢

を持っている。

- ③ 患者様、その家族、そして専門家集団の中で適切なコミュニケーション、さらには外国語による基本的な会話などを通して国際的なコミュニケーションが行える能力を身につけている。

(3) 情意領域 (関心・意欲・態度)

- ① 生涯にわたり専門分野を探究し、発展に寄与する意欲を持っている。
- ② 理学療法士の使命・責任と守るべき義務を理解し、誇りを持った行動ができる。
- ③ 人と社会に深い関心を持ち、人権を尊重し、高い倫理観を維持できる。

以上の要件を満たした者に学位を授与する。

1 学生の受け入れ計画

学生の受け入れについては、2020年度は大学入試改革の初年度で「大学入学者選抜大学入試センター試験」に代わり、「大学入学共通テスト」が導入される他、各大学の入試においても「学力の3要素」の評価が求められることとなった。また、2024年度には新学習指導要領を前提にさらなる改革が予定されている。

このような中、アドミッションポリシーにある本学が求める学生像に照らし、入試制度を見直ししていくとともに、アドミッションポリシーの検証を進めていく。

2 教職員の配置計画

看護学科及び理学療法学科の教員については基礎（系）科目、専門基礎（系）科目、専門科目のそれぞれにおいて、必修科目を中心に、教育研究上の優れた業績を有する者、高度の技術・技能を有する者、当該実務において特に優れた知識及び経験を有する者、学生に対する教育を優先的に考えられる者を核として、バランスよく専任教員を配置する。

期末又は期中において専任教員が退職をした場合、すぐに補充をするのではなく、現状の教員で対応することが可能かを十分に検討する。

事務職員については、本学の目標達成に向け、これまで以上に積極的な役割を担い、大学運営の一翼を担う機能をより一層発揮できるよう、事務の効率化、合理化を図り、円滑に機能する組織体制を構築できるよう人員を配置する。また、職員が大学の運営に必要な知識・技能を身につけ、教職員協働で教育改革に取り組める体制を構築するため、FD・SD研修会を行い、充実を図る。

北キャンパス（看護学科）

（単位：人）

区 分	専任教員							特任教授
	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	
基礎系	1	2	1	1			5	2
看護系		5	2	7	5	4	23	1
合 計	1	7	3	8	5	4	28	3

※R2.3.26現在の予定者数

区 分	事務職員			
	教務課	総務課	図書館	計
常 勤	6	5	1	12
非常勤	8	2	1	11
合 計	14	7	2	23

南キャンパス（理学療法学科）

（単位：人）

区 分	専任教員					
	教授	准教授	講師	助教	助手	計
基礎系	3					3
理学療法系	2	1	3	3	4	13
合 計	5	1	3	3	4	16

区 分	事務職員				
	事務局長	教務課	総務課	図書館	計
常 勤	1	2	1	(2)業務委託	4
非常勤		1	(1)派遣		1
合 計	1	3	1	0	5

3 施設、設備などの整備計画

今年度も引き続き、教養教育・医療等に係る図書（オンライン・データベースを含む）の整備を進めていく。さらに、新型コロナウイルスにより対面授業がオンライン授業等に切り替わったことにより、オンライン授業等に対応できる通信環境を整備していく。昨年度末に無線 LAN の整備が完了したことにあわせて、今年度は、高速で通信可能な学術情報ネットワーク sinet の導入及び、学内の情報ネットワーク機器等を順次更新し対面授業、オンライン授業どちらにも対応できる通信環境を整備していく。

また、南キャンパスでは、2020 年度入学者より指定規則の改定があり、それに伴った物品を引き続き段階的に整備していく。

4 自治体との連携関係

本学が幸手市に開学して 12 年目を迎える。大学の社会的存在意義を考えたとき、幸手市や幸手市民と良好な関係を築くことが重要である。地元の方々に誇りに思ってもらえるよう努めている。

昨年度、本学と幸手市との間で包括的連携に関する協定を締結したことにより、これまで以上に地域の発展に向け、協力体制を築いていく。

具体的には、本学の教職員・学生が幸手市でのイベントへの参加や公共施設を利用する等、幸手市との連携を密にし、①市民公開講座の開催、②学院祭等に幸手市民参加を促す、③幸手市民等への大学施設の貸し出し、④災害時の避難場所としての受け入れ、⑤保健福祉総合センター・社会福祉協議会主催の幸手市健康福祉まつりへのボランティア活動の参加等、市民の福祉・医療・保健に資する共同事業を積極的に推進していく。

5 教育研究環境の整備

(1) カリキュラム編成、教育方法の充実

社会的使命を果たすため、教職員が一丸となって、教育の質の保証と向上に努め、建学

の精神の具現化をめざす。

教育の原点であるディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3ポリシーを遵守し、この3ポリシーに照らした取り組みについて点検・評価を実施する。

初年次教育の充実・強化に向けて検証と見直しを行うと共に、具体的な改善案を策定する。教学 IR や FD 活動や授業評価アンケートの活用等を通じて、学生の資質や学力、学習成果の把握に努め、それをカリキュラム改革に活かしていく。

従来のカリキュラムの優れた面を保ちつつ、社会の動向や学生の資質・ニーズの変化にも合わせ、学生の成長に一段と資する形となるよう、改善を図っていく。

入学して来る学生の多様化への対応、高大連携、及び初年次教育・導入教育の拡充といった観点から、入学前教育の強化を図る。

(2) 教育活動の充実

クラスを分けての授業や ICT の活用を通じて、学生の学習意欲を喚起し、理解し易く教育効果の高い授業を行うための授業方法の改善、教育内容の充実に取り組む。そして大学設置基準において義務付けられている、大学の授業の内容・方法の改善を図るための組織的な研修と研究を実施することとし、具体的には FD 委員会において、講演会、シンポジウム、教育方法改善のためのワークショップ等の具体化を図っていく。あわせてディプロマ・ポリシーに掲げた教育目標の成果について客観的に評価できる全学共通の指標について検討する。教育方法の充実として学生の主体的な学修を促すための工夫がなされている事例研究を通して、学生の学修成果の向上に向けたアクティブ・ラーニングの諸施策を検討する。

(3) 研究活動の充実

科研費その他の競争的研究費および民間団体等による研究助成金について、教員による応募を奨励し、採択件数の増加を図る。合わせて、論文・学会発表等による研究成果の公開を促進する。

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）平成 19 年 2 月 15 日（令和 3 年 2 月 1 日改正）文部科学大臣決定」に基づいて、研究費不正防止のための対策を徹底する。同ガイドライン（実施基準）の改正に合わせて、本学の関連規定についても必要な改正を行う。

「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成 26 年 8 月 26 日）文部科学大臣決定」に基づき、研究活動の不正行為を抑止するための対策を実施する。

人を対象とする研究については、研究倫理・利益相反委員会における審査を必須とし、これを周知徹底する。

(4) 学生支援活動の充実

担任、学習指導教員により学生生活等全般にわたる相談を積極的に行い、全教員による学生へのきめ細かな対応の強化を図る。

本学の目標である、人間性、専門性、国際性、社会性を有し、共済主義精神を有する人材を育成するために、正課外教育の観点から、課外活動を含めて学生が充実したキャンパ

スライフを送ることができるよう、学生の学修意欲の向上に資するものを拡充する。

具体的には、IR（全学的な情報共有と活用）や FD・SD 活動などを継続すると共に、各学科と事務局が持つ様々な情報を、個人情報の保護に留意しつつ教職員間で共有・利用し合い協力を進めていく。

また、心のケア等の相談窓口として 2018 年 12 月に設置した学生相談室を引き続き運用する。同室には看護師を配置し、急病人への対応と共に、学生からの相談に応じている。臨床心理士等への相談が必要な場合には、校医と相談の上で、学外の心理療教室等を紹介することとしている。

（5）保健師・看護師・理学療法士資格等の取得支援

国家試験の合格率は、大学に対する社会的評価の重要な指標の一つでもあり、国家試験合格率 100%を目指し様々な学生への支援を行っているが、特に基礎学力の不足する学生に対しては、早期からきめ細やかな学習支援を行うなどさらなる充実を図る。

看護学科においては、2021 年度においても教員等により構成される国家試験対策委員会等を中心に、補講や国家試験対策模擬試験を実施し、個別指導と合わせ、国家試験の全員合格を目指し、取り組んでいく。

理学療法学科においては 2020 年度に初めての理学療法士国家試験を迎えた。2021 年度も引き続き、理学療法学基礎教育からキャリア教育を実施し、職業観を育成していくとともに、理学療法士国家試験に向けて教職員で構成する国家試験対策委員会を設けて、国家試験の全員合格を目指して取り組んでいく。

（6）就職支援

看護学科では病院からの奨学金制度を積極的に受け入れており、1 学年のおよそ半数の学生が病院からの奨学金の貸与を受けている。病院奨学金の貸与を受けている学生については既に就職先が決まっている状況にある。残りの半数の学生に対しては、就職支援室を通じての恒常的な就職情報の提供や就職ガイダンスの実施、病院の就職説明会の開催等、今年度も引き続き、学生の就職支援に取り組んでいく。

また、理学療法学科においても同様に、就職支援室を通じて就職情報の提供を行うとともに、引き続き WEB 上でも求人票等の採用情報を提供していく。また、1 期生が卒業年次となるため、学内就職ガイダンス等を計画して就職内定率 100%を目指す。

6 学生募集の強化

少子化に伴う 18 歳人口が減少する中、意欲的かつ学力・人物面で優秀な学生を確保することは、本学の目標・目的の実現のためにも最重要の課題である。

2020 年度は大学入試改革による入試制度の大幅な変更や新型コロナウイルス感染症の影響により、受験生の行動様式に大きな変化が起り、従来の入試広報活動では対応できない状況となった。

2022 年度入学者募集での入試広報方針としては「入試広報活動における全学体制の構築」と「大学の PR 活動の徹底」を掲げる。

重点戦略としては、従来通りに①特長と強みの再構築（他校との差別化）、②早期募

集の確立(タイミング広報の確立)、③インターネット広報の強化(自学媒体の強化)、④イベントの充実と戦略化(直接広報の強化)、⑤高校訪問の推進(高大連携の推進とネットワーク強化)を行うほか、更に⑥大学をPRするための学内の情報の収集と共有体制の構築、⑦学内情報の発信を行う。

収集した情報はホームページやSNSで発信するほか、新聞等のメディアにプレスリリースを行い、保護者や本学を取り巻くステークホルダー(利害関係者)に対する広報活動を強化していく。

7 事業運営の推進

(1) 新規事業の検討

新たに幸手南キャンパスにおいて設置した保健医療学部理学療法学科は第1回卒業生を輩出し、大学開設後12年目を迎えることとなった。10周年を迎えたことに伴い、コロナ禍により遅れている記念式典の開催、記念誌の発行等を進めて行く。

また、①新たな学科(心理学科、ST(Speech-Language-Hearing Therapist:言語聴覚士)学科、データサイエンス学科等)の設置、②共通教育センター(基礎教育、教養教育、初年次教育、あるいは入学前教育といった大学全体の学びを下支えする部門を担当する組織)等の設置、③学生生活をサポートするサービス(学生食堂、学生駐車場(幸手南キャンパス)等)の提供を検討して行く。

(2) 自己点検・評価

令和2年度に実施した自己点検・評価の結果に基づいて、改善策を策定・実施し、その効果について検証を行う。

公益財団法人日本高等教育評価機構(JIHEE)が主催する「大学・短期大学評価セミナー」及び「評価充実協議会」に参加し、機関別認証評価制度の現状や今後の変更点について情報収集を行う。その情報を学内の教職員と共有し、認証評価制度の理解促進を図る。

(3) 情報公開

大学の教育研究活動等に関する情報についての社会的な関心が高まっていると共に、大学は公共性が高い機関であり、大学の教育研究活動等に関する情報を公表することは、社会的な責務であり、学校教育法及び学校教育法施行規則において、情報公表及び具体的な情報公表の項目を定められている。また、大学等の修学の支援に関する法律の施行に伴う情報公開、令和元年度の私立学校法等の改正、それに伴う寄附行為の変更に係る役員等名簿や役員報酬規程等、新たな情報公開の要請にも対応しているところである。

教育研究活動等の情報及び財務情報を大学のホームページ等において広く公表することは、現在では大学に限らず広く一般に行われているところである。

このような状況に鑑み、これまで本学においても教育研究活動等の情報及び財務情報の公表について積極的に行ってきたが、2021年度において、公表義務のある教員任期規程も含め、さらに一層情報公表項目を拡大することに努めることとしている。

(4) FD (ファカルティ・ディベロップメント)

授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。具体的には、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催等についてFD・SD委員会で議論し、本学の特色に適したものを実施する。

(5) SD (スタッフ・ディベロップメント)

教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、各教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設ける。FD・SD委員会での議論に基づいて、対象者の役職や経験に応じた適切かつ最適な研修等を実施する。

(6) IR (インスティテューショナル・リサーチ)

学長室を設置し、学修時間・教育の成果等に関する情報の収集・分析を行う。本学が置かれている客観的な状況を把握・分析するだけでなく、学内外に対して必要な情報を提供できるよう体制を整備する。

2021年度 事業活動収支 予算

学校法人 共済学院

(単位：円)

	科目名	前期予算	予算案	前期比増減
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,058,900,000	1,024,610,000	△ 34,290,000
	授業料	592,000,000	573,000,000	△ 19,000,000
	入学金	65,400,000	63,000,000	△ 2,400,000
	実験実習料	189,500,000	183,610,000	△ 5,890,000
	施設設備資金	212,000,000	205,000,000	△ 7,000,000
	手数料	11,720,000	13,300,000	1,580,000
	入学検定料	4,000,000	5,000,000	1,000,000
	試験料	7,600,000	8,000,000	400,000
	証明手数料	120,000	300,000	180,000
	寄付金	210,000	300,000	90,000
	特別寄付金	100,000	0	△ 100,000
	一般寄付金	110,000	300,000	190,000
	経常費等補助金	54,849,800	50,000,000	△ 4,849,800
	国庫補助金	54,849,800	50,000,000	△ 4,849,800
	付随事業収入	26,000	120,000	94,000
	補助活動収入	26,000	120,000	94,000
	雑収入	4,910,000	5,620,000	710,000
	施設設備利用料	110,000	120,000	10,000
	研究関連収入	3,300,000	4,000,000	700,000
	その他雑収入	1,500,000	1,500,000	0
教育活動収入計	1,130,615,800	1,093,950,000	△ 36,665,800	
教育活動支出	人件費	527,454,310	519,000,000	△ 8,454,310
	教員人件費	380,000,000	390,000,000	10,000,000
	職員人件費	111,668,000	120,000,000	8,332,000
	役員報酬	3,000,000	3,000,000	0
	退職給与引当金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
	退職金	29,786,310	3,000,000	△ 26,786,310
	教育研究経費	242,776,524	251,730,000	8,953,476
	消耗品費	14,000,000	15,000,000	1,000,000
	光熱水費	9,500,000	10,000,000	500,000
	旅費交通費	11,000,000	12,000,000	1,000,000
	奨学費	7,200,000	12,000,000	4,800,000
	福利費	10,000	10,000	0
	通信運搬費	5,000,000	5,000,000	0
	印刷製本費	5,400,000	6,000,000	600,000
	出版物費	3,300,000	3,600,000	300,000
	保健衛生費	7,800,000	8,600,000	800,000
	修繕費	10,000,000	10,000,000	0
	諸会費	2,400,000	2,400,000	0
	報酬・委託・手数料	25,900,000	26,000,000	100,000
	賃借料	1,470,000	1,500,000	30,000
損害保険料	5,272,524	5,300,000	27,476	
公租公課	24,000	120,000	96,000	
実験実習費	3,500,000	4,200,000	700,000	
保守料	31,000,000	30,000,000	△ 1,000,000	
雑費	2,000,000	2,000,000	0	
減価償却費	98,000,000	98,000,000	0	
管理経費	126,343,664	129,080,000	2,736,336	

2021年度 事業活動収支 予算

学校法人 共済学院

(単位：円)

	科目名	前期予算	予算案	前期比増減
出 の 部	消耗品費	3,000,000	3,600,000	600,000
	光熱水費	1,500,000	1,800,000	300,000
	旅費交通費	1,500,000	1,500,000	0
	福利費	200,000	240,000	40,000
	通信運搬費	8,400,000	8,000,000	△ 400,000
	印刷製本費	12,000,000	12,000,000	0
	出版物費	50,000	100,000	50,000
	保健衛生費	2,000,000	2,000,000	0
	修繕費	3,000,000	5,000,000	2,000,000
	諸会費	800,000	800,000	0
	報酬・委託・手数料	23,800,000	24,000,000	200,000
	賃借料	420,000	420,000	0
	損害保険料	313,164	360,000	46,836
	公租公課	180,000	200,000	20,000
	広報費	48,000,000	48,000,000	0
	会議費	400,000	360,000	△ 40,000
	渉外費	600,000	600,000	0
	慶弔費	71,500	0	△ 71,500
	保守料	7,000,000	7,000,000	0
	雑費	1,400,000	1,400,000	0
	減価償却費	11,700,000	11,700,000	0
	私立大学等経常費補助金返還金	9,000	0	△ 9,000
	徴収不能額等	835,000	0	△ 835,000
	徴収不能額	835,000	0	△ 835,000
教育活動支出計	897,409,498	899,810,000	2,400,502	
教育活動収支差額	233,206,302	194,140,000	△ 39,066,302	
教育 活 動 外 収 支	収入の部			
	受取利息・配当金	26,000	30,000	4,000
	その他の受取利息・配当金	26,000	30,000	4,000
	その他の教育活動外収入	26,000	30,000	4,000
	教育活動外収入計	26,000	30,000	4,000
	支出の部			
	借入金等利息	2,600,000	2,400,000	△ 200,000
借入金利息	2,600,000	2,400,000	△ 200,000	
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	2,600,000	2,400,000	△ 200,000	
教育活動外収支差額	△ 2,574,000	△ 2,370,000	204,000	
経常収支差額	230,632,302	191,770,000	△ 38,862,302	
特 別 収 支	収入の部			
	事業活動収入の部	0	0	0
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	1,500,000	0	△ 1,500,000
	現物寄付	1,500,000	0	△ 1,500,000
	特別収入計	1,500,000	0	△ 1,500,000
	支出の部			
	事業活動支出の部	0	0	0
資産処分差額	0	0	0	
その他の特別支出	0	0	0	
特別支出計	0	0	0	
特別収支差額	1,500,000	0	△ 1,500,000	
(予備費) (事)	0	100,000,000	100,000,000	
基本金組入前当年度収支差額	232,132,302	91,770,000	△ 140,362,302	

2021年度 事業活動収支 予算

学校法人 共済学院

(単位：円)

	科目名	前期予算	予算案	前期比増減
	基本金組入額合計	60,000,000	20,000,000	△ 40,000,000
	当年度収支差額	172,132,302	71,770,000	△ 100,362,302
	前年度繰越収支差額	△ 159,226,427	12,905,875	172,132,302
	翌年度繰越収支差額	12,905,875	84,675,875	71,770,000
	事業活動収入計	1,132,141,800	1,093,980,000	△ 38,161,800
	事業活動支出計	900,006,498	902,210,000	2,203,502

2021年度 資金収支 予算

学校法人 共済学院

(単位：円)

科目名	前期予算	予算案	前期比増減
収入	2,309,434,529	2,525,162,578	215,728,049
学生生徒等納付金収入	1,058,900,000	1,024,610,000	△ 34,290,000
授業料収入	592,000,000	573,000,000	△ 19,000,000
入学金収入	65,400,000	63,000,000	△ 2,400,000
実験実習料収入	189,500,000	183,610,000	△ 5,890,000
施設設備資金収入	212,000,000	205,000,000	△ 7,000,000
手数料収入	11,720,000	13,300,000	1,580,000
入学検定料収入	4,000,000	5,000,000	1,000,000
試験料収入	7,600,000	8,000,000	400,000
証明手数料収入	120,000	300,000	180,000
寄付金収入	210,000	300,000	90,000
特別寄付金収入	100,000	0	△ 100,000
一般寄付金収入	110,000	300,000	190,000
補助金収入	54,849,800	50,000,000	△ 4,849,800
国庫補助金収入	54,849,800	50,000,000	△ 4,849,800
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	90,000	120,000	30,000
補助活動収入	90,000	120,000	30,000
受取利息・配当金収入	26,000	30,000	4,000
その他の受取利息・配当金収入	26,000	30,000	4,000
雑収入	4,910,000	5,620,000	710,000
施設設備利用料収入	110,000	120,000	10,000
研究関連収入	3,300,000	4,000,000	700,000
その他の雑収入	1,500,000	1,500,000	0
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	194,695,000	211,000,000	16,305,000
授業料前受金収入	82,825,000	90,000,000	7,175,000
入学金前受金収入	45,000,000	54,000,000	9,000,000
実験実習料前受金収入	30,570,000	31,500,000	930,000
施設設備資金前受金収入	33,800,000	33,000,000	△ 800,000
教材費前受金収入	2,500,000	2,500,000	0
その他の収入	139,550,738	107,000,000	△ 32,550,738
前期末未収入金収入	5,400,738	5,000,000	△ 400,738
預り金受入収入	131,000,000	100,000,000	△ 31,000,000
立替金回収収入	1,000,000	1,000,000	0
仮払金回収収入	2,150,000	1,000,000	△ 1,150,000
資金収支調整勘定	△ 327,637,642	△ 194,695,000	132,942,642
前期末前受金	△ 327,637,642	△ 194,695,000	132,942,642
前年度繰越支払資金	1,172,120,633	1,307,877,578	135,756,945
前年度繰越支払資金	1,172,120,633	1,307,877,578	135,756,945
			0
支出	2,309,434,529	2,525,162,578	215,728,049
人件費支出	524,454,310	516,000,000	△ 8,454,310
教員人件費支出	380,000,000	390,000,000	10,000,000
職員人件費支出	111,668,000	120,000,000	8,332,000
役員報酬支出	3,000,000	3,000,000	0
退職金支出	29,786,310	3,000,000	△ 26,786,310
教育研究経費支出	144,776,524	153,730,000	8,953,476

2021年度 資金収支 予算

学校法人 共済学院

(単位：円)

科目名	前期予算	予算案	前期比増減
消耗品費支出	14,000,000	15,000,000	1,000,000
光熱水費支出	9,500,000	10,000,000	500,000
旅費交通費支出	11,000,000	12,000,000	1,000,000
奨学費支出	7,200,000	12,000,000	4,800,000
福利費支出	10,000	10,000	0
通信運搬費支出	5,000,000	5,000,000	0
印刷製本費支出	5,400,000	6,000,000	600,000
出版物費支出	3,300,000	3,600,000	300,000
保健衛生費支出	7,800,000	8,600,000	800,000
修繕費支出	10,000,000	10,000,000	0
諸会費支出	2,400,000	2,400,000	0
報酬・委託・手数料支出	25,900,000	26,000,000	100,000
賃借料支出	1,470,000	1,500,000	30,000
損害保険料支出	5,272,524	5,300,000	27,476
公租公課支出	24,000	120,000	96,000
実験実習費支出	3,500,000	4,200,000	700,000
保守料支出	31,000,000	30,000,000	△ 1,000,000
雑費支出	2,000,000	2,000,000	0
管理経費支出	115,643,714	117,380,000	1,736,286
消耗品費支出	3,000,000	3,600,000	600,000
光熱水費支出	1,500,000	1,800,000	300,000
旅費交通費支出	1,500,000	1,500,000	0
福利費支出	200,000	240,000	40,000
通信運搬費支出	8,400,000	8,000,000	△ 400,000
印刷製本費支出	12,000,000	12,000,000	0
出版物費支出	50,000	100,000	50,000
保健衛生費支出	2,000,000	2,000,000	0
修繕費支出	3,000,000	5,000,000	2,000,000
諸会費支出	800,000	800,000	0
報酬・委託・手数料支出	23,800,000	24,000,000	200,000
賃借料支出	420,000	420,000	0
損害保険料支出	313,164	360,000	46,836
公租公課支出	180,000	200,000	20,000
広報費支出	49,000,000	48,000,000	△ 1,000,000
会議費支出	400,000	360,000	△ 40,000
渉外費支出	600,000	600,000	0
慶弔費支出	71,550	0	△ 71,550
保守料支出	7,000,000	7,000,000	0
雑費支出	1,400,000	1,400,000	0
私立大学等經常費補助金返還金支出	9,000	0	△ 9,000
借入金等利息支出	2,600,000	2,400,000	△ 200,000
借入金利息支出	2,600,000	2,400,000	△ 200,000
借入金等返済支出	49,074,000	49,074,000	0
借入金返済支出	49,074,000	49,074,000	0
施設関係支出	2,850,000	7,000,000	4,150,000
設備関係支出	11,400,000	17,400,000	6,000,000
教育研究用機器備品支出	6,000,000	12,000,000	6,000,000
管理用機器備品支出	3,000,000	3,000,000	0

2021年度 資金収支 予算

学校法人 共済学院

(単位：円)

科目名	前期予算	予算案	前期比増減
図書支出	1,200,000	2,400,000	1,200,000
車輛支出	1,200,000	0	△ 1,200,000
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	162,832,841	101,400,000	△ 61,432,841
前期末未払金支払支出	39,360,203	50,000,000	10,639,797
預り金支払支出	120,000,000	50,000,000	△ 70,000,000
前払金支払支出	386,513	400,000	13,487
立替金支払支出	945,560	1,000,000	54,440
仮払金支払支出	2,140,565	0	△ 2,140,565
(予備費) (資)	0	100,000,000	100,000,000
	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 12,074,438	△ 12,000,000	74,438
前期末前払金	△ 12,074,438	△ 12,000,000	74,438
翌年度繰越支払資金	1,307,877,578	1,472,778,578	164,901,000
翌年度繰越支払資金	1,307,767,578	1,472,778,578	165,011,000